

あつぎこどもの森公園は ……

長い間、地元の人によって山の木は炭や薪に、谷戸は田んぼや畑として利用されていましたが、昭和40年代以降社会の変化と共に使われなくなりました。

昭和30年代までのこのような所にはたくさんの生き物が生息し、生物多様性に富んだところでした。

人の手が入らなくなってやや少なくなったのですが、それでもいまでは珍しくなった貴重な生き物がいろいろいます。

2015年、神奈川県自然保護協会が選ぶ県内生物多様性ホットスポットとして選定されました。

あつぎこどもの森公園憲章

私たち厚木市民は、「あつぎこどもの森公園」において、多くの生き物に恵まれた自然環境や里山の文化などの資源を守り、いかしながら、遊んで学んで元気になれる自然体験活動を通じてたくましい子どもたちを育てる取組を推進するため、この憲章を定めます。

- ・ 私たちは、厚木市の生き物にとって重要な場所である「あつぎこどもの森公園」の自然環境を守り、育て、その大切さを伝えます。
- ・ 私たちは、里山の自然環境の特性をいかした様々な体験の機会を子どもたちに提供し、生きる力を育みます。
- ・ 私たちは、里山で継承されてきた農業や暮らしの知恵を伝承し、新たな里山の文化を育てます。

制作 ©あつぎこどもの森クラブ自然プロジェクトグループ 通巻61号

写真 長岡 柁・吉田文雄・青砥航次

連絡先 あつぎこどもの森公園管理棟 046-210-3433

E-mail atugikodomonomorikurabu@gmail.com

HP: <https://atsugikodomonomori.com/>

2021年第10回自然ガイドウォーク

秋の花とキノコ

2021年10月16日(土)



ムシナタケ

主催 あつぎこどもの森クラブ

森のキノコ

前回のコケと同じように森の中では一部食用になるものの他は地味な存在です。しかし生態系の中では分解者として大事な役目をしています。



ムシナタケ



ドクツルタケ



タマゴタケ



チャカイガラタケ



カワラタケ



コフキ
サルノコシカケ



セミノハリセンボン



ウコンハツ?



ツノマタタケ

咲いている花



ヤマトリカブト



タイアザミ



マツカゼソウ



コメナモミ



チヂミザサ

実



クサギ



サンショウ



キツタ



ゲンノシヨウコ
種が飛びだした後

最近のこどもの森公園

昆虫他



オオアオイトトンボ



オオカマキリ



ツチイナゴ



マユタテアカネ



ツマグロヨコバイ

苔類



ヒメジウウロコケ



イラガのなかま幼虫



シリアゲムシのなかま

センサーカメラがとらえた画像



2頭のオスジカは角の大きさから見て別の個体のように見えます。

シカの雌はこどもや他の雌と群を作りますが、雄は単独行動します。

秋はシカにとって恋の季節です。

暗くなると、オスは高い声で歌うように鳴きます。

こどもの森でも夜鳴いている声が聞こえます。

10/7

鳴くのはメスを呼んでいるといわれます。

オスの角の先が白くなっていますが、春から伸びてきた角を木の枝などにこすりつけて磨いたためです。

角はメスを巡って争うときの武器です。

角が立派であれば闘う前から勝負は付くのかも知れません。

この角は、春先には落ちて生え替わります。



9/17

09-17-2021 20:27:16

活動の記録

外来種駆除作戦

10月2日 ため池の水抜きをしました。
ため池には排水設備がないので、エンジンで動くポンプを運び込んで行ったのですが、泥が深くとは出来ませんでした。



10月3日 水辺の生き物調査隊の子どもたち中心で、アメリカセンダングサ抜き取りと、その後ため池外来種駆除を兼ねて生きもの調査をしました。外来種のウシガエルは多くつかまりましたが、アメリカザリガニは一匹も取れなかったのでひとまず安心しました。

稲刈りをしました

10月3日の午後は、2枚ある田んぼの上手側で稲刈りをしました。
イネの間にカヤネズミの巣が10個あまり見つかりました。
こどもの森の田んぼは、泥が深いので作業には苦労します。



こどもの森探検隊



東京農大の学生ボランティアにより、公園を利用する子どもたちに自然観察や図鑑での調べ方などサポートする活動が8月からは始まっています。

「こどもの森探検隊」はこの会の名前です。
活動日は当面第1と

第3日曜日の午後です。

10月3日はヒバカリというヘビの観察がとても人気でした。



ガイドウォークはコロナの蔓延期間中定員20名にしています。原則事前申し込み制で、定員に空きがある場合は当日参加もできます。会員に限らず誰でも申し込みます。

こどもの森ガイドウォーク（自然観察）原則第3土曜

9:30～ 理棟前集合 参加無料どなたでも参加できます。定員20名

2021年の計画

- 4月17日 雑木林の春
- 5月15日 夏鳥の声
- 6月19日 初夏の植物
- 7月17日 森の昆虫を探そう
- 8月14日 水辺の生き物
- 9月18日 谷戸のシダとコケ
- 10月16日 秋の花とキノコ

11月20日 種子の旅 ← 次回

12月18日 生き物の冬越し

2022年

- 1月15日 冬の野鳥
- 2月26日 冬芽の観察
- 3月19日 春の兆し

水辺の生き物調査隊（申し込み制 年間メンバー固定）

- 4月11日 こどもの森公園と水生生物について
- 5月16日 両生類～カエル・イモリについて
- 6月20日 ホタルについて
- 7月19日 水生カメムシについて
- 8月1日 トンボについて
- 9月5日 河川調査について
- 10月3日 外来生物について
- 11月7日 ホトケドジョウについて ← 次回
- 12月4日 冬の生き物の過ごし方
- 1月10日 落ち葉かき・カブトムシ増やし
- 2月6日 トンボの幼虫を絵に描こう
- 3月6日 ヤマアカガエルについて

新型コロナウイルス蔓延状況により中止の場合があります。

植物モニタリング

原則毎月第2金曜日の9:30から 決まったコースを歩いて出現する植物を記録します。植物を覚えたい方により機会です。会員対象

草木染め勉強会

園内にある植物を使って草木染めをいろいろ試してみようという会です。毎月第3金曜日午前中に行っています。会員対象です。（入会はいつでも受付ています）